



新しい学校生活スタート 今年842人が入学

4月9日、町内の小中学校で入学式が行われ、新しい学校生活が始まりました。

武蔵ヶ丘北小学校(末田稔校長、319人)では、53人が入学。式では、新入生がとびきりの笑顔で入場し、5・6年生は「散歩」を演奏して盛大に迎えました。

新入生氏名点呼では、担任の先生に名前を呼ばれると元気よく返事をし、後ろで見守っている上級生たちに「よろしくお祈いします」とかわいらしくあいさつしました。

そして、末田校長が「小学校は勉強や運動会など楽しいことがたくさんあります。元気のいいあいさつをして、みんなと仲良くし、人の話を聞くなどを約束してください」とあいさつ。6年生の荒牧南海さんが「みんなで協力して楽しい学校を作っていきましょう」と児童を代表して新入生にお迎いの言葉を述べました。

また、教科書と安全帽が贈られ、新入生はこれから6年間の楽しい学校生活を迎えます。



▲新入生氏名点呼で元気よく返事できました(上)
新入生の代表として、教科書と安全帽を受け取る(下)

▲5・6年生の「散歩」の演奏に迎えられ、入場



▲お迎いの言葉を聞く新入生たち

大津地区交通安全推進大会開催

4月3日、菊陽町図書館ホールで大津地区交通安全推進大会が開催されました。

この大会は、春と秋の全国交通安全運動に併せて毎年行われており、大津警察署管内の4市町村の住民を対象に交通安全意識の高揚と交通事故を防止することを目的としています。

今年は、宇城地区交通安全協会講習員の山口久代さんと舟津千鶴さんによる腹話術での交通安全講話や、大津地区交通安全協会講習員の桑原洋子さんによる寸劇、また、菊陽武蔵剣豪太鼓によるアトラクションなどが行われました。



▲開会式の様子

馬場楠堰で水神祭 水の恵みに感謝を

4月15日、馬場楠堰近くで水神祭が行われました。この水神祭は毎年4月15日に行われているもので、当日は馬場楠土地改良区の山本理事長をはじめ、関係者25人が参加。川に御神酒をまくなどして、昨年の恵みに感謝と今年の五穀豊穰、水の恵みを祈りました。

馬場楠堰井手は加藤清正によって築造されたかんがい用水路で、現在も熊本市までの約180haの水田を潤しています。鼻ぐり井手もこの井手の一部です。



▲五穀豊穰を祈願する馬場楠堰の関係者たち

柳水管原神社春祭り 五穀豊穰を願う

4月15日、柳水地区(上田紀昭区長)の菅原神社で春祭りが行われました。

当日は柳水住民11人が参加。宮司の祈願の後、懇親会が行われました。

この祭りは毎年4月15日に行われており、地区住民が集まって五穀豊穰を願います。9月25日の秋祭では、豊作の感謝をする予定です。

柳水管原神社は平成13年に創立500年を迎えており、町でも長い歴史のある神社です。



▲柳水管原神社での春祭り

TOPICS まちのわだい

環境にやさしい飼料用米育ち新ブランド「えこめ牛」

3月17日、飼料用米で肥育した牛肉のブランド化に取り組むJ A菊池から、営農・畜産販売促進のため三角副組合長が来庁され、後藤町長に飼料用米で育った牛肉6kgが渡されました。

3月23日に行われた飼料用米利用推進大会で「えこめ牛」として新ブランド牛名が発表されました。

4月から本格的に全国へ向けて出荷が始まっており、農産物市場「きくちのまんま」3店舗と「大津とれたて市場」の4店舗でも販売されています。



▲J A菊池の皆さんから牛肉の贈呈

ふれあいの森さくら祭 満開のさくらに囲まれ

3月27日、ふれあいの森公園・研修センターで、ふれあいの森さくら祭を開催しました。

菊陽北小学校校区内の地域住民と、同センターで行われている講座の受講生などが、歌や踊りなどさまざまなステージ発表を披露。観客も音楽に合わせて手をたたいたり、体を動かしたりして楽しんでいました。その他にも、地域ボランティアの食バザーやセンター内に講座生の展示物が飾られており、会場にはたくさんの家族連れが訪れにぎわいました。



▲観客も一緒に健康体操